

今もまだ

ゆめのなか



おい
マスター

ちよつと
面貸せよ

バーヴァン・シー

ディナーの
お誘いなら
今食べて
きちゃったん
だけど……

ちげーよ！

誰か誘うか……

部屋
上がらせて
もらおうわよ？



はッ

なんだ
もう
泣き言かあ?!

まだ
始めた
ばっかだからが





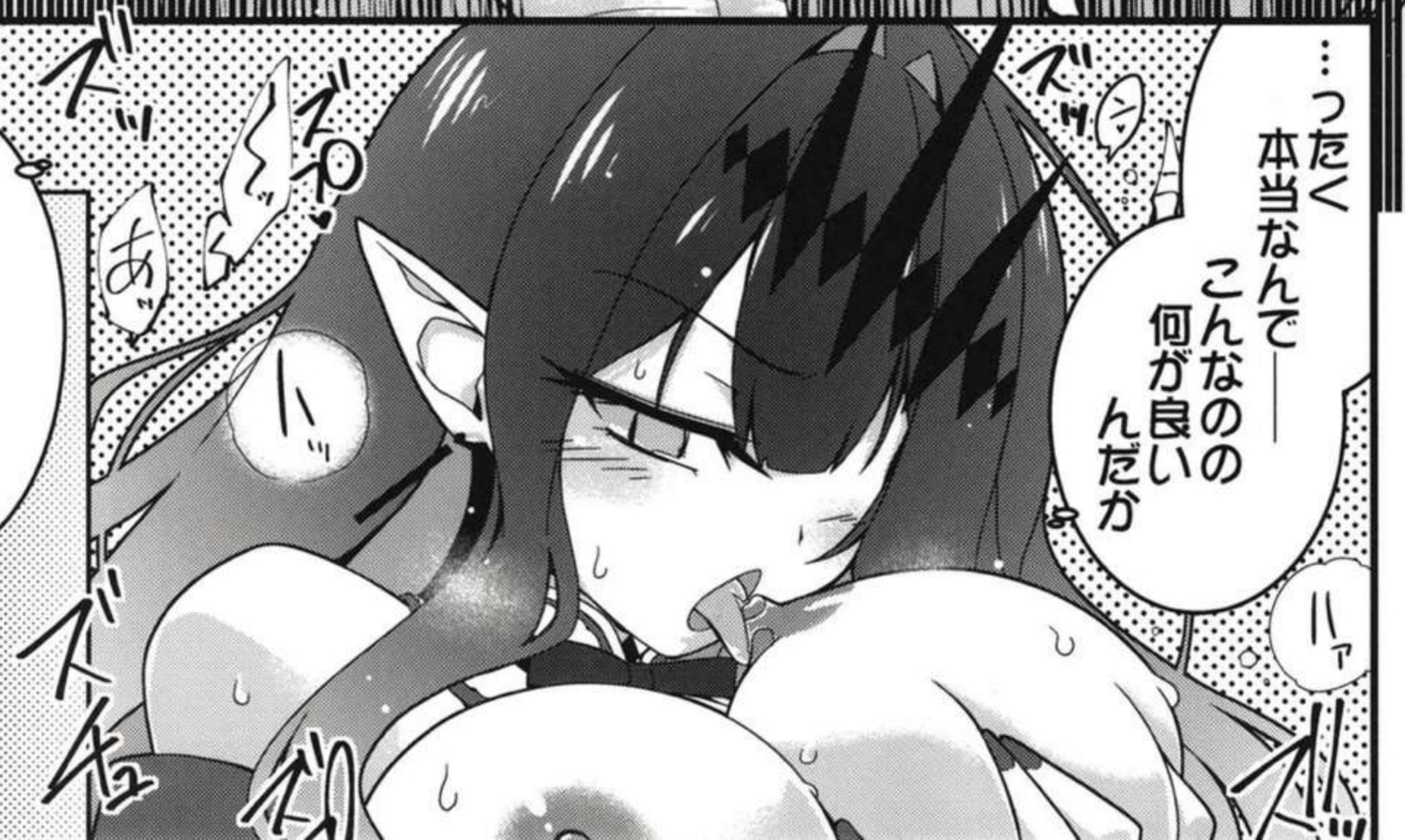
何で：
こんな
急に

ハッ

ヒッ

お母様は

…つたく
本当なんで
こんなもの
何が良い
んだか



ヒッ
ハッ
ヒッ
ハッ

ハッ

ヒッ

カルデアに
召喚されて以降

さあ
我が夫♡

毎晩毎晩

朝までベツタリ
イチヤイチヤ
イチヤイチヤ

でもそれ
今日で終いだ



今のうちに
スツカラカンに
されて

こっちも
そろそろ
本気でイクぜえ

ほらほら
おっおと出せよ
ほらー!

お母様の前で
おっ勃てもできない
無様を晒せば良いわ!

それが
何日も続けば
流石にお母様だって
愛想を尽かすはず

いっ

ズッ

ニッコ...



遠慮は
いららないよね

バーヴァン・シーが
そういうつもりなら



こんな

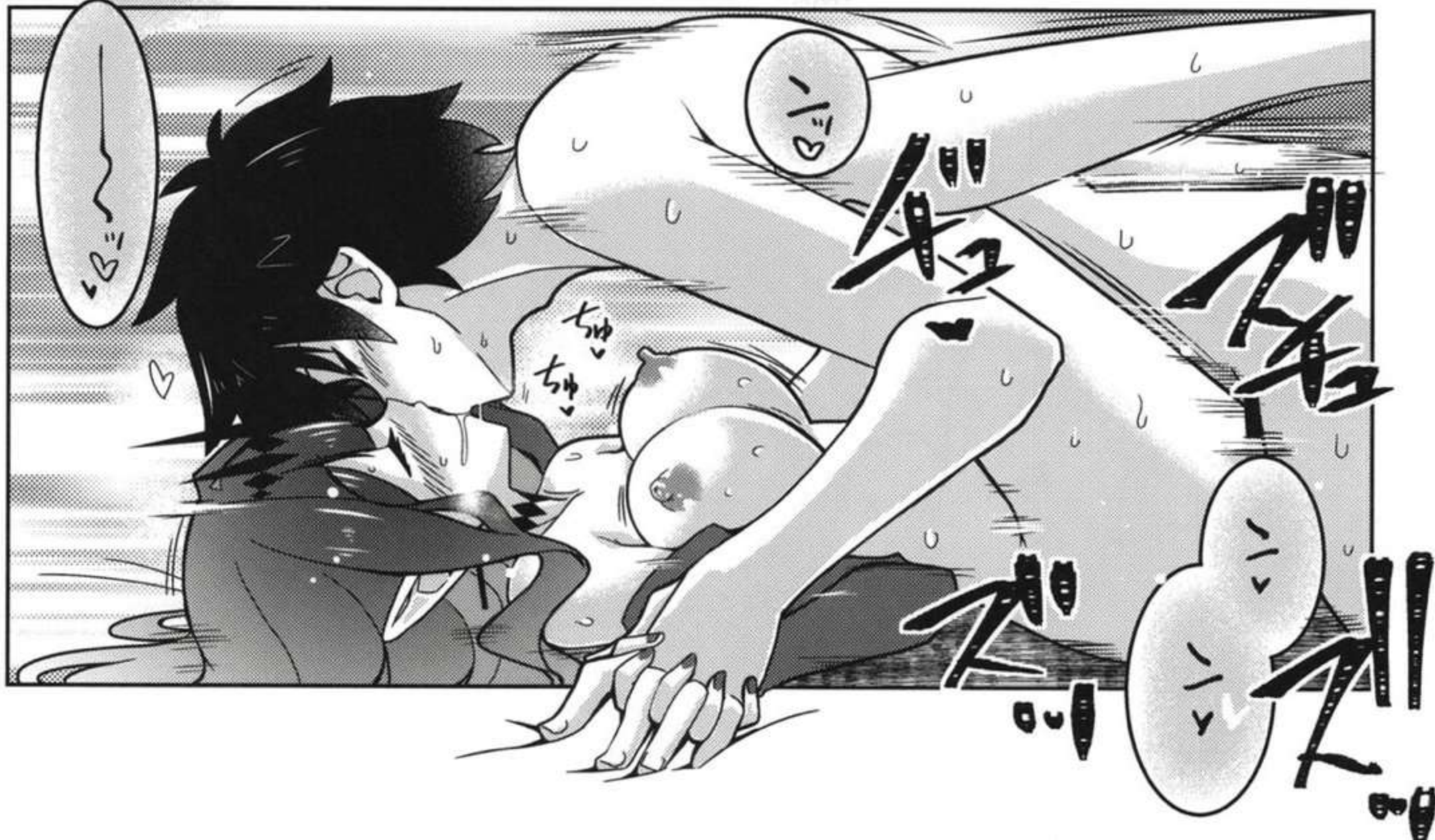
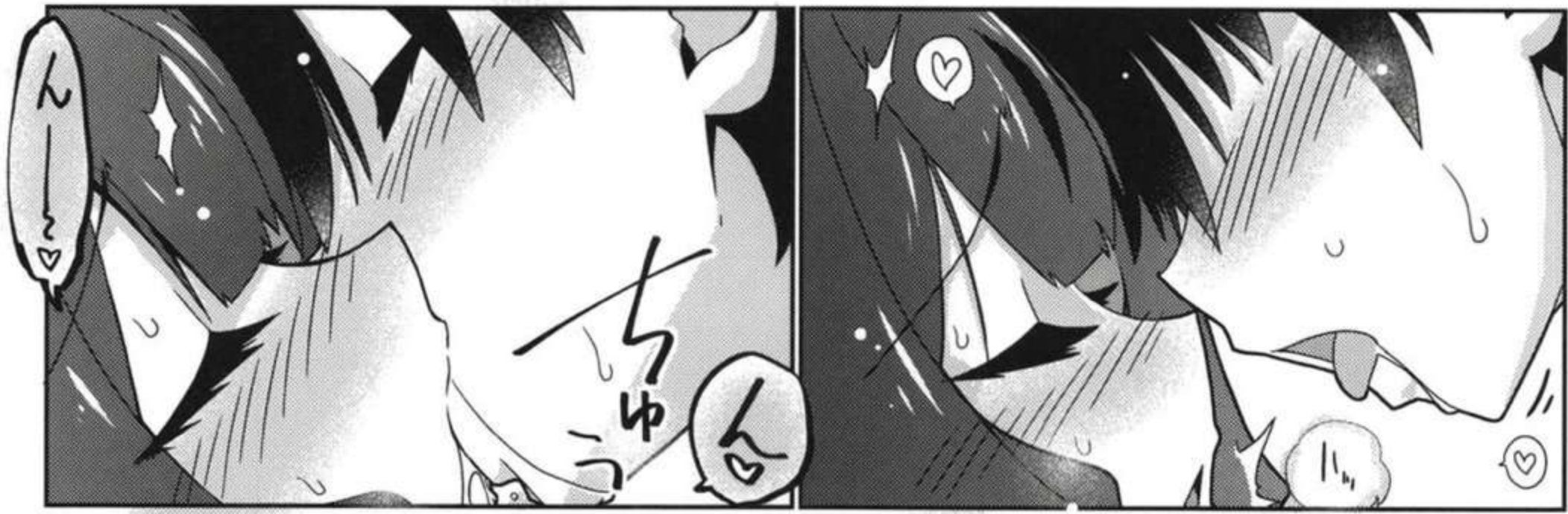
…んんん
さっきまでどう
別人じゃねーか



もう…
ちよっと…ッ だから
頑張って
バーヴァン・シー









バーヴァン・シー



あーあーあー

あーあー



ほんっと
気持ち良さそうだね

うま

はーん



シュー

あーあー

あーあー

あーあー

あーあー

あーあー

あーあー



うっへも

はい



キモチのせい

ズク

キモチ

スウ

あー 良

ズク

ウ

あー 良

ずいぶん素直に
なつたね

ウ

スゴ

そんなに
気に入ってくれた?

あー 良

あー 良

あー 良

ウ

ウ

ウ



あゝあ

やい

やい

やい

が

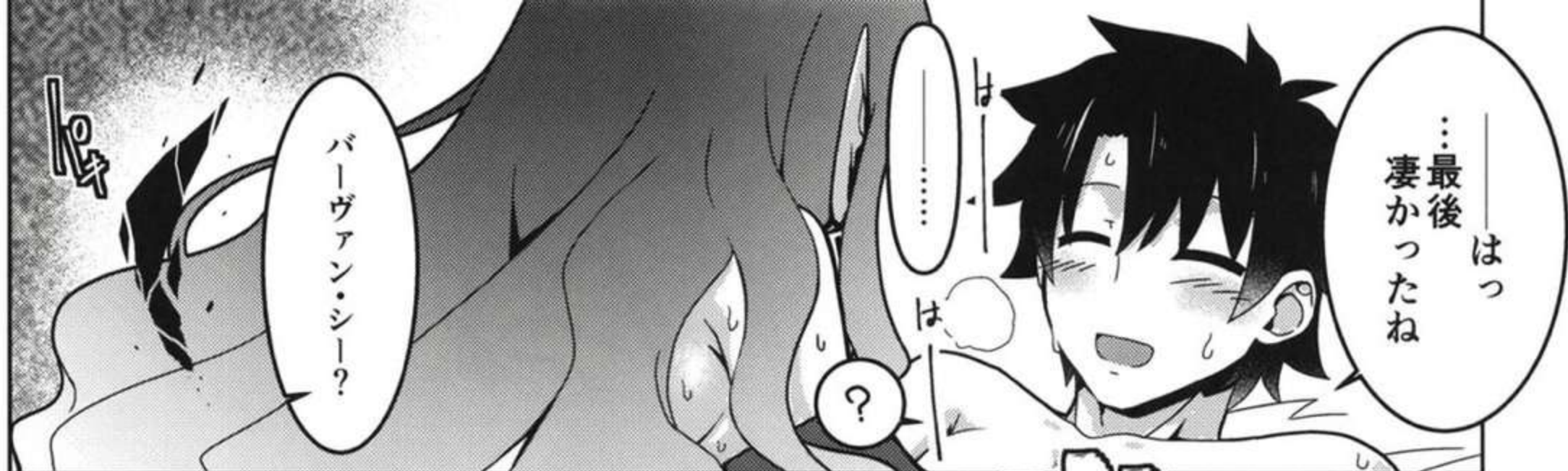
あゝあ

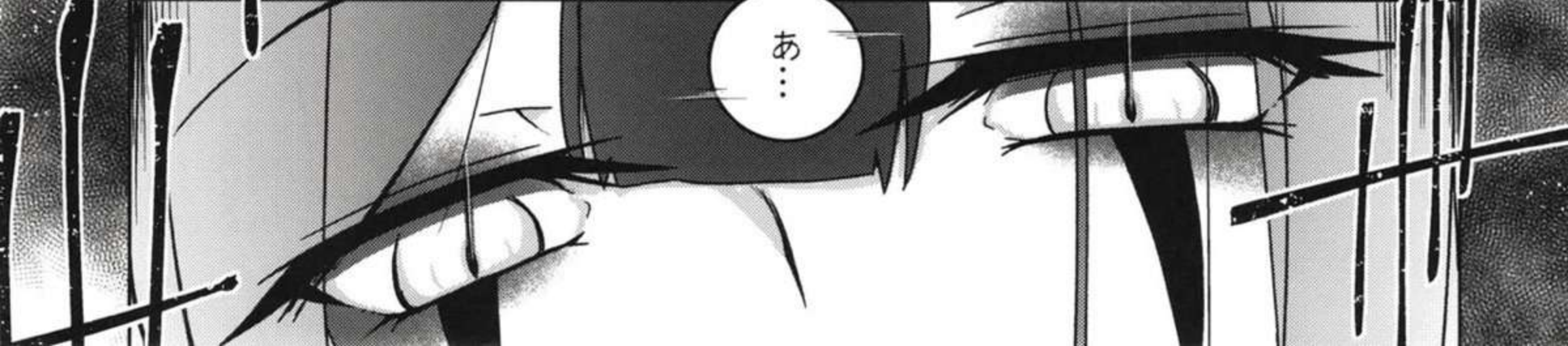
あゝあ

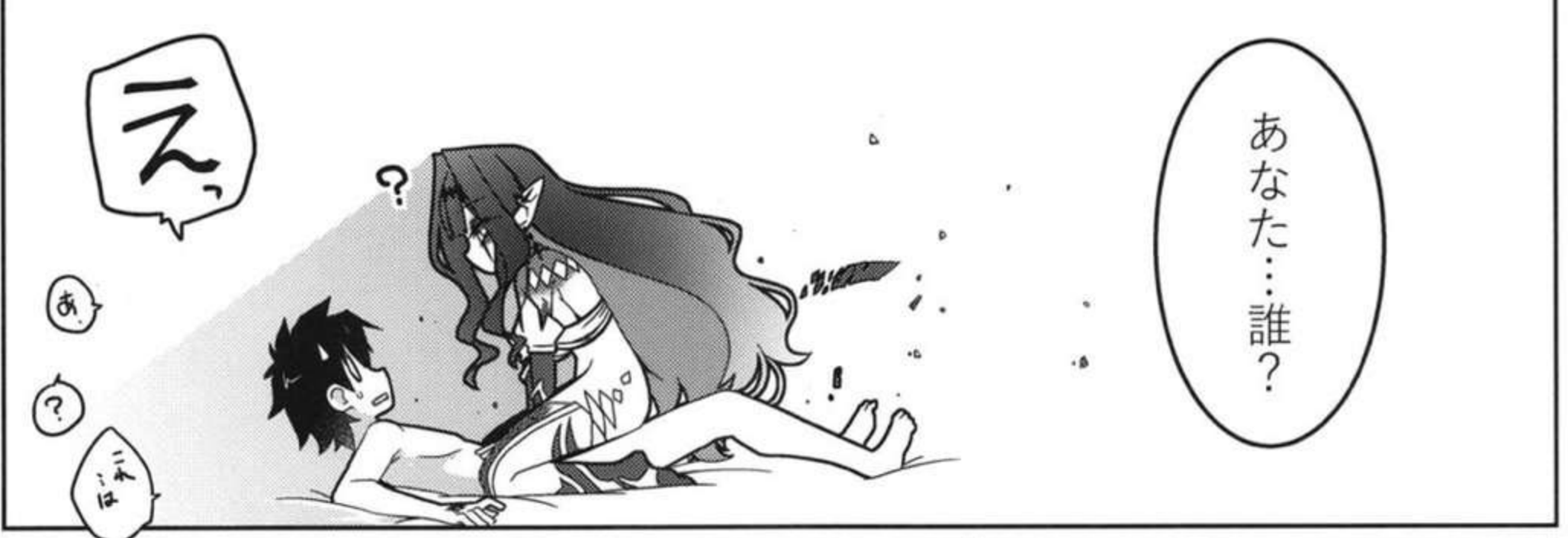
あゝあ

あ

あ



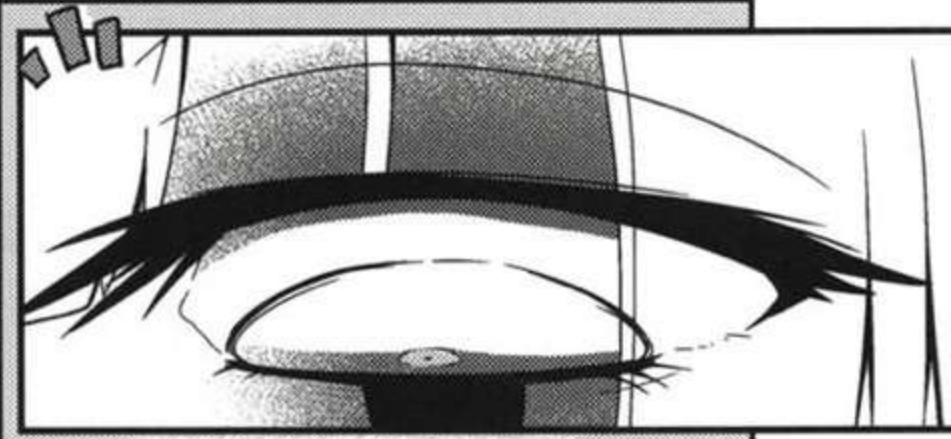




あなた…誰？



そういう—
事…



ああ





すっご…ッ！



ていうか俺今さっきイッたばかりだから…ッ

ちよっと待っ…ま…あ

膣内のつねり方がさっきまでとは全然違う…ッ





ガタ

お願い

お願い

お願い



ガタ

ガタ

お願い

お願い

バラバラになら
ないように抱
きしめて

ガタ
ガタ

繋ぎとめて



アナタノ

好きニシテ

イイカラ









—やつぱり
膾内の
肉ひた唐い...ッ

…でもその割に
バーヴアン・シーの
反応は薄いな…

もしかして
あんまり
気持ちよく…ない？

……



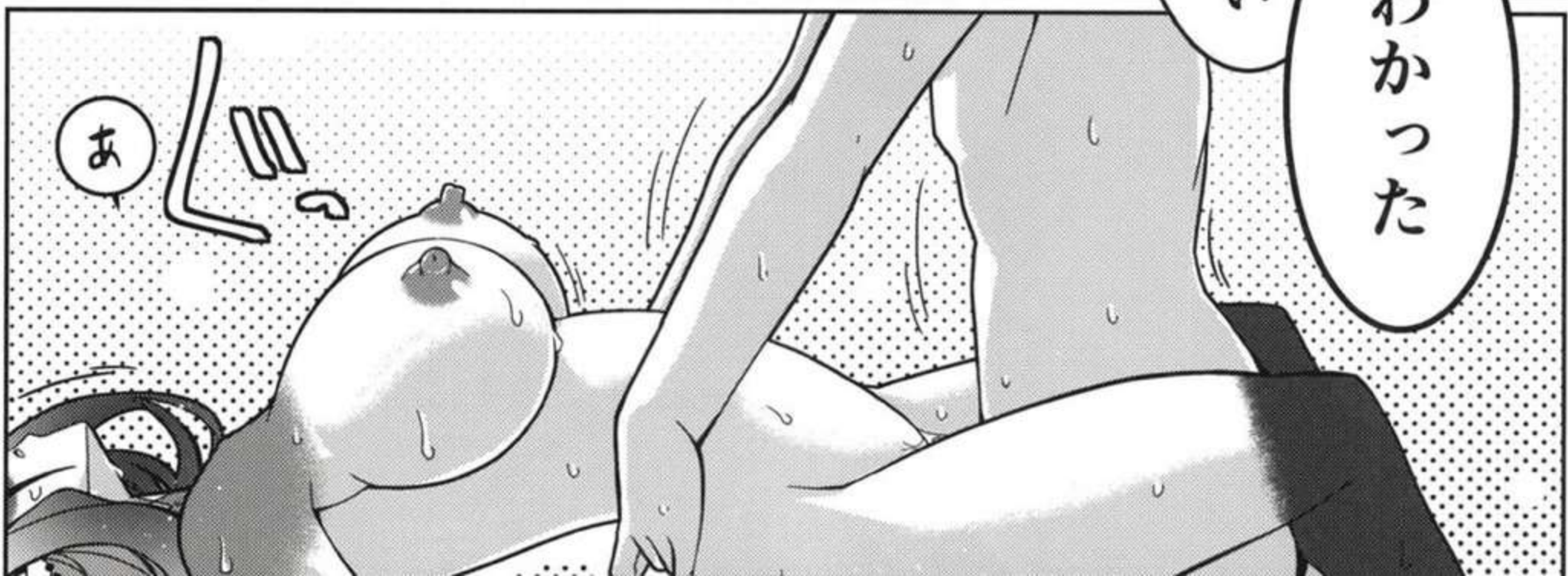
よく
わからない…

抱きしめて…

…繋げて欲しい

わかった

でも
やめないで



あ



これでいい？
かまひ



……はい

おっ
おっ
おっ





気持ちよくなってきたか？

良い声になってきたね

あー

あめ

ちゅ



...わからない



...！



でも 思い出して き... たっ





そいまでですよ？

バーヴァン・シー

お

お母様？

わ：私 わたし！
今度こそあいつらを
殺してや

大丈夫ですよ

ああ：ごめんなさい
ごめんなさいお母様
私いつもいつも

今はまだ
ゆめのなか

おやすみなさい
私の

バーヴァン・シー



ありがとう
モルガン

えと

すー

すー

わかっています

バーヴァン・シーの
わがままに付き合っ
てくれたのでしょ



この子には…
そうあれと
言い含めて
ありましたから…

では



続きは私が♡

さあ…我が夫♡

翌朝
川の字で挟まれた状態で
最初に起床を果たす
バーヴアン・シー



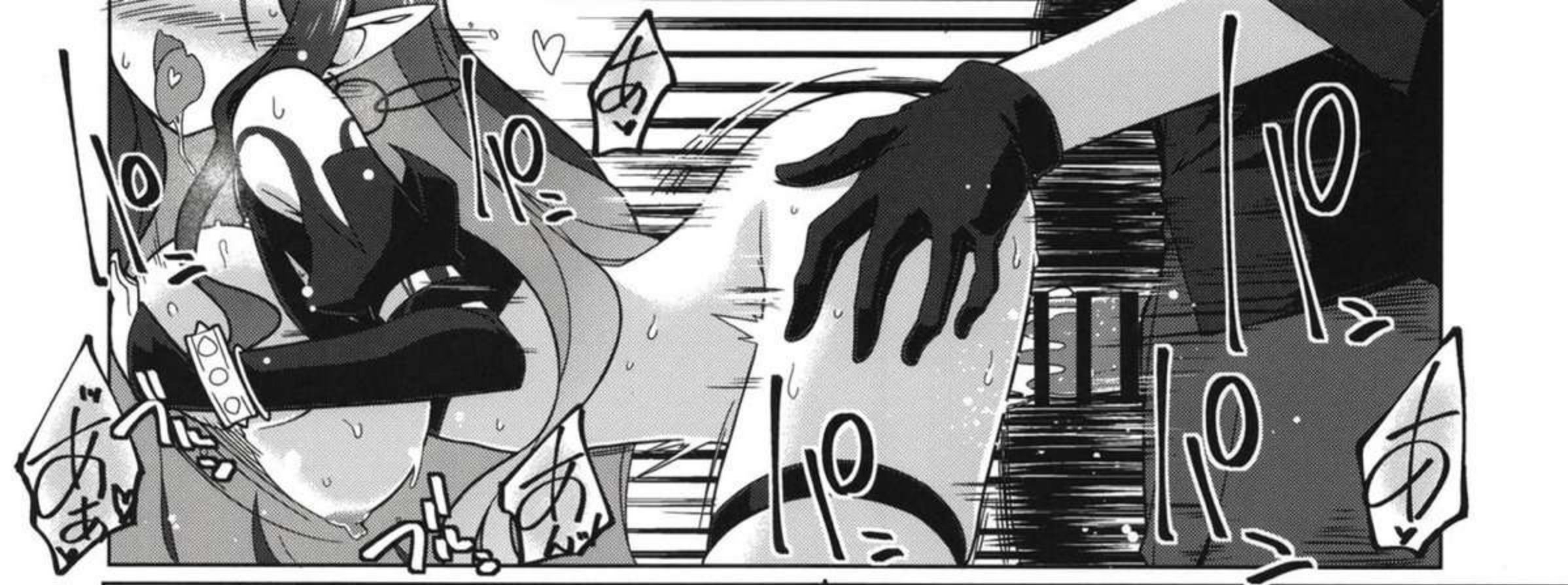
混乱

確か…あ—？
マスターに
良いように…
犬ツコロみたいに…
…ちっ！

駄目だ！
思い出せね—
…というか
お母様にバして…ツ
いやでもこの状態…
えええ？！

起きてました。





おっ
おっ
なッ

カルデア廊下

こんな場所で
いきなり
おっはじめる奴が
あるか?!!



そんな恰好で誘ってきたのはバーヴァン・シーだろ？

誘ってねえ！

んッ

せうき

よま

んん

ちゅ

……ん

む



…は

…ッ



うるせ
ちよっと…
休ませて

あ
大丈夫？

ん

ん





びんびん

たほ

たほ

たほ

……



ムジキもどきかー！

ムジキかー！



あー

あ



たほんだよ

たほ

弱いなら
早く言っとけ

たほん



『今もまだゆめのなか』

奥付

発行・2022.08.14

サークル・こおりあめ

著者・氷雨げんた

印刷所・大陽出版様

メール・hisameg446@gmail.com

Twitter・@hisamegenta

禁・無断転載等そこら辺

Thank you for reading! 次の機会も
あいますよー♡

こおりあめ